

～地域に挑戦を生むあたらしい“応援”のかたち～

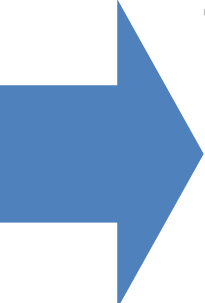
西条市版SIB (Social Impact Bond)

西条市 市民生活部 地域振興課

SIBとは？（Social Impact Bond）

- SIBとは、民間資金を活用して革新的な社会課題解決型の事業を実施し、その事業成果（社会的コストの効率化部分）を支払の原資とすることを旨とするもの。
- ニューヨーク市等では、民間事業者の活動の社会的インパクト（行政コスト削減等）を数値化し、自治体等がその成果報酬を支払うSIBの導入が図られ、民間資金の活用が進んでいる。（※経済産業省資料より）

SIBの要件

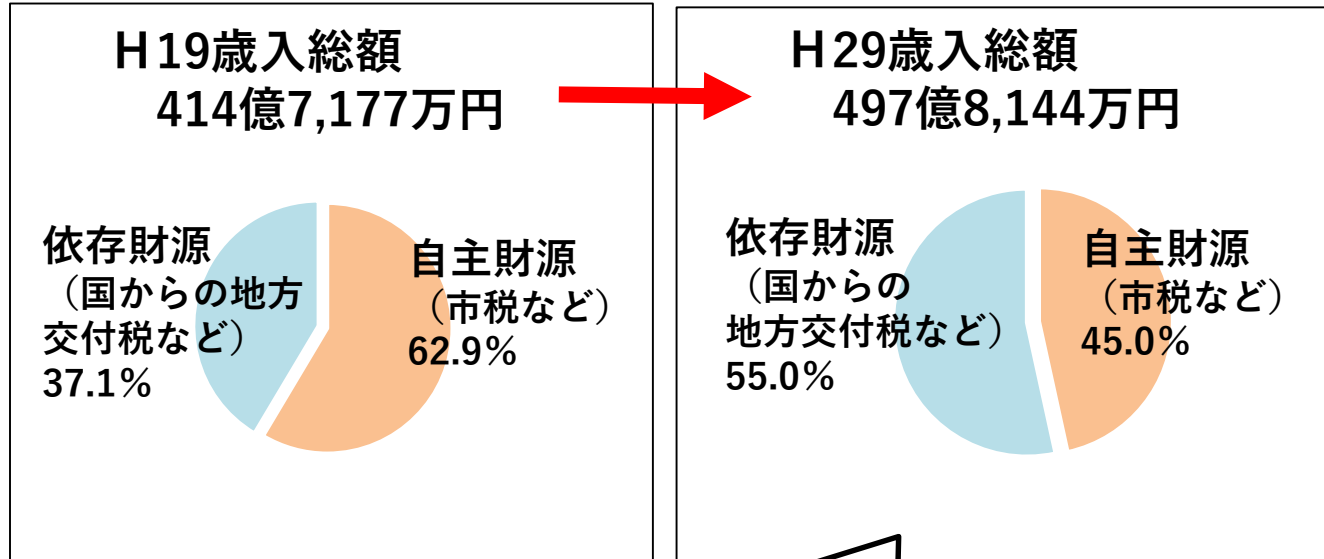
- 
- ・ 民間資金の活用
 - ・ 民間事業者と行政の連携
 - ・ 成果連動型支払い（行政は成果が認められた時にのみ支払いを行う）であると考えています。

西条市の現状 ～市の財政状況～

西条市の財政状況～収入の推移

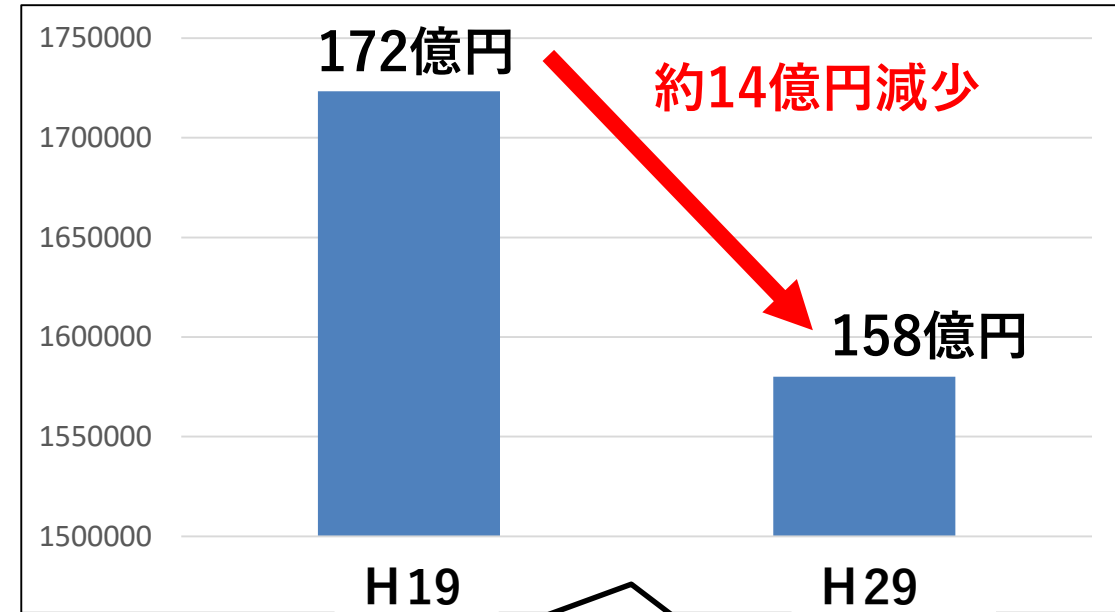
※普通会計決算額

▼歳入総額の推移



総額は増加したが、国に依存せず
市が独自に使える
自主財源の比率は逆転。減少。

▼市税収入の推移



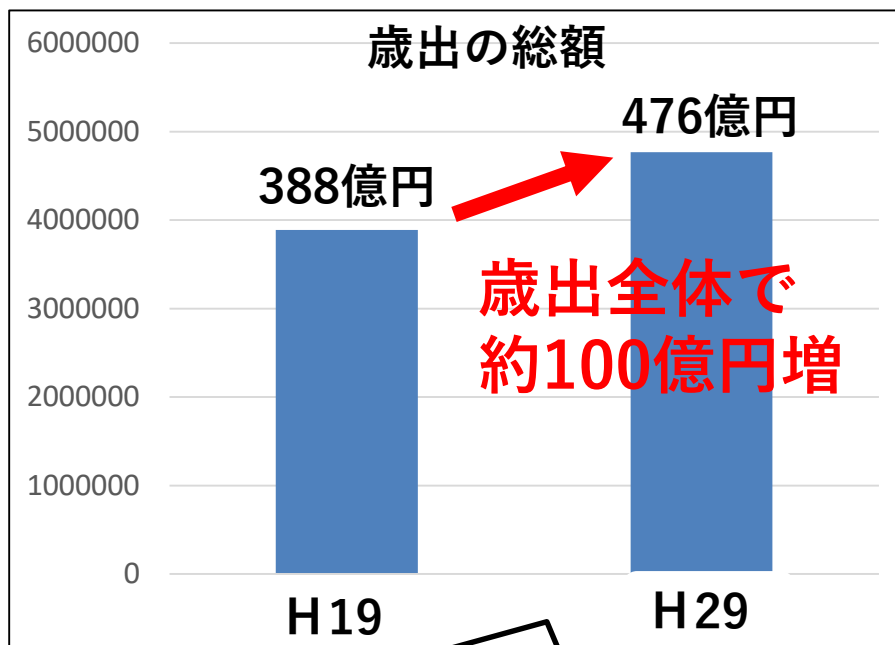
自主財源の半分以上を占める
市税収入は年々減少。

さらに…

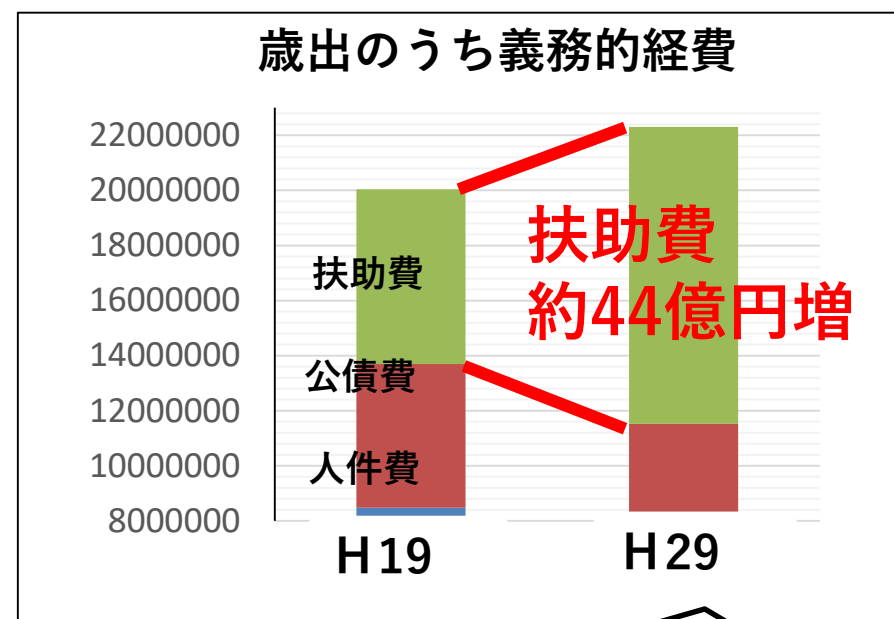
国からの「仕送り」ともいえる「地方交付税」は段階的削減：
合併後の特例措置は令和元年度で終了。

西条市の財政状況～支出の推移

※普通会計決算額



H19 388億8,394万円
→ H29 476億9,117万円
約100億円拡大



義務的経費の増加
【扶助費（社会保障経費）44億円増】
今後も増加の一途

課題

このような厳しい財政状況の中、一層の行財政改革を推し進める必要性

①費用対効果のより十分な検証

②住民の主体的参画を伴う仕組み【まずは知ることから】の構築が求められる。

市民による市民のための 挑戦を応援しあえる仕組み。

地域社会をささえる様々な分野のチャレンジを
資金面でも応援できるよう、人と人がつながり、
温かいお金の流れを生み出す仕組みのことを
西条市では「ローカルファンド」と呼んでいます。

多様な市民の対話を通じて
構想実現に向かっていきます



資金調達の想定

【市民から】

- ・ 寄付
- ・ 遺贈（寄付）
- ・ 出資

【民間企業から】

- ・ 寄付
- ・ 金融機関の融資、出資

【行政から】

- ・ 目的別補助金の運営委託
- ・ ふるさと納税によるNPO等支援

実施中

市民資金と連携

西条ふるさと基金（仮）

投資

助成

融資

地域課題の解決と地域資源を活用した地域活性化を推進するためのコミュニティビジネス等の支援

Point：社会的収益の見える化

Point：事業への社会的認証

コーディネート
&
※ハンズオン

※投資先の運営に参画すること

幅広い市民参加、
人のつながりが
支える地域

西条市の将来像

“人がつどい、まちが輝く、

快適環境実感都市”

ヒト・モノ・カネ
の地域循環

産業の新たな流れ

仕事と家庭の

バランス良い暮らし

ソーシャル
イノベーション

豊かで自立した持続
可能な地域社会の形成

活用の想定

●助成

公益活動への補助金
事業指定寄付制度
冠基金による助成制度

●助成＋融資

金融機関との協調融資

●融資

コミュニティビジネス
支援融資

実施中

●西条市版SIB

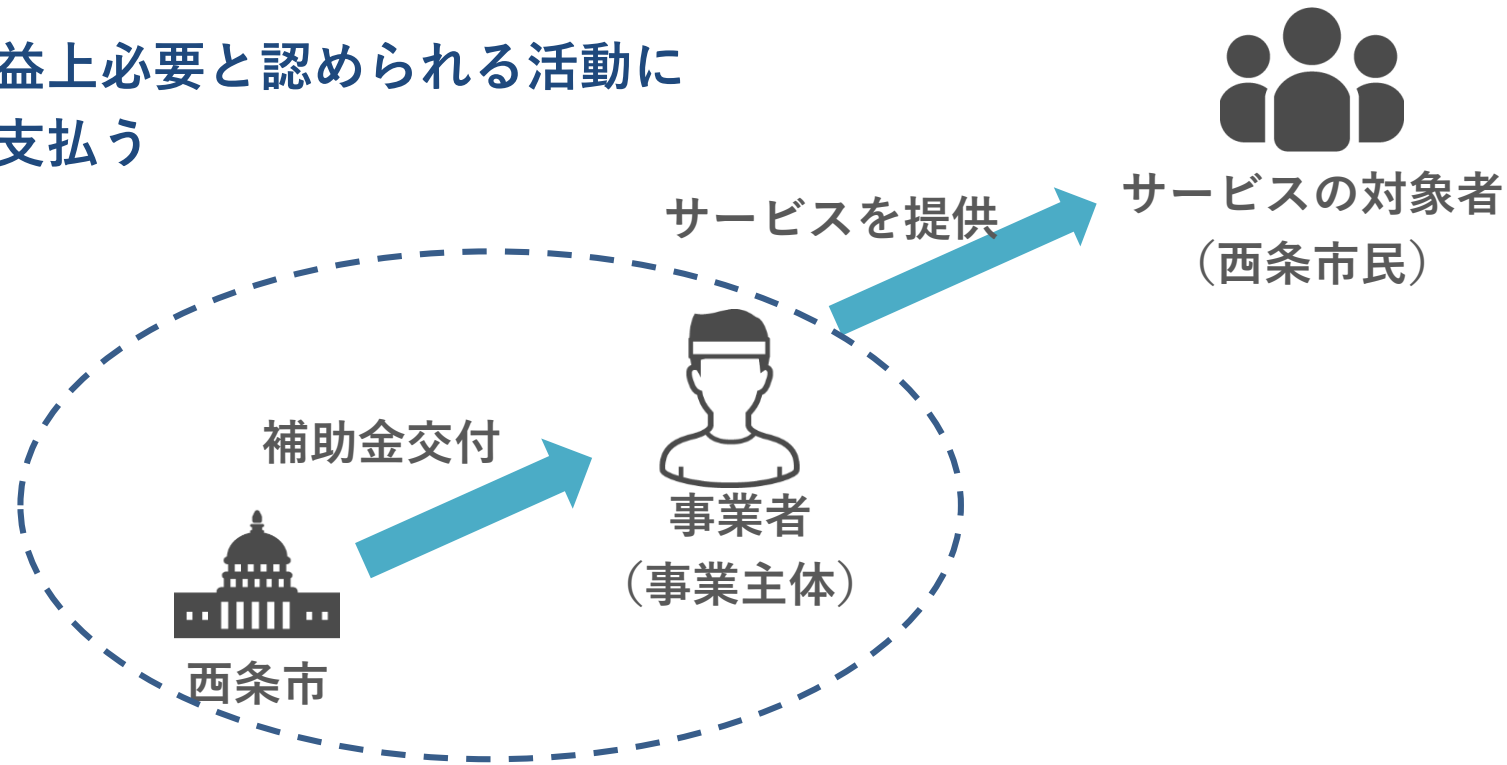
（ソーシャルインパクトボンド）
行政の補助金を成果型へ、
住民出資を活用

●地域通貨

人と人をつなぐ交換ツール
電子マネーの活用等

従来の一般的な補助金

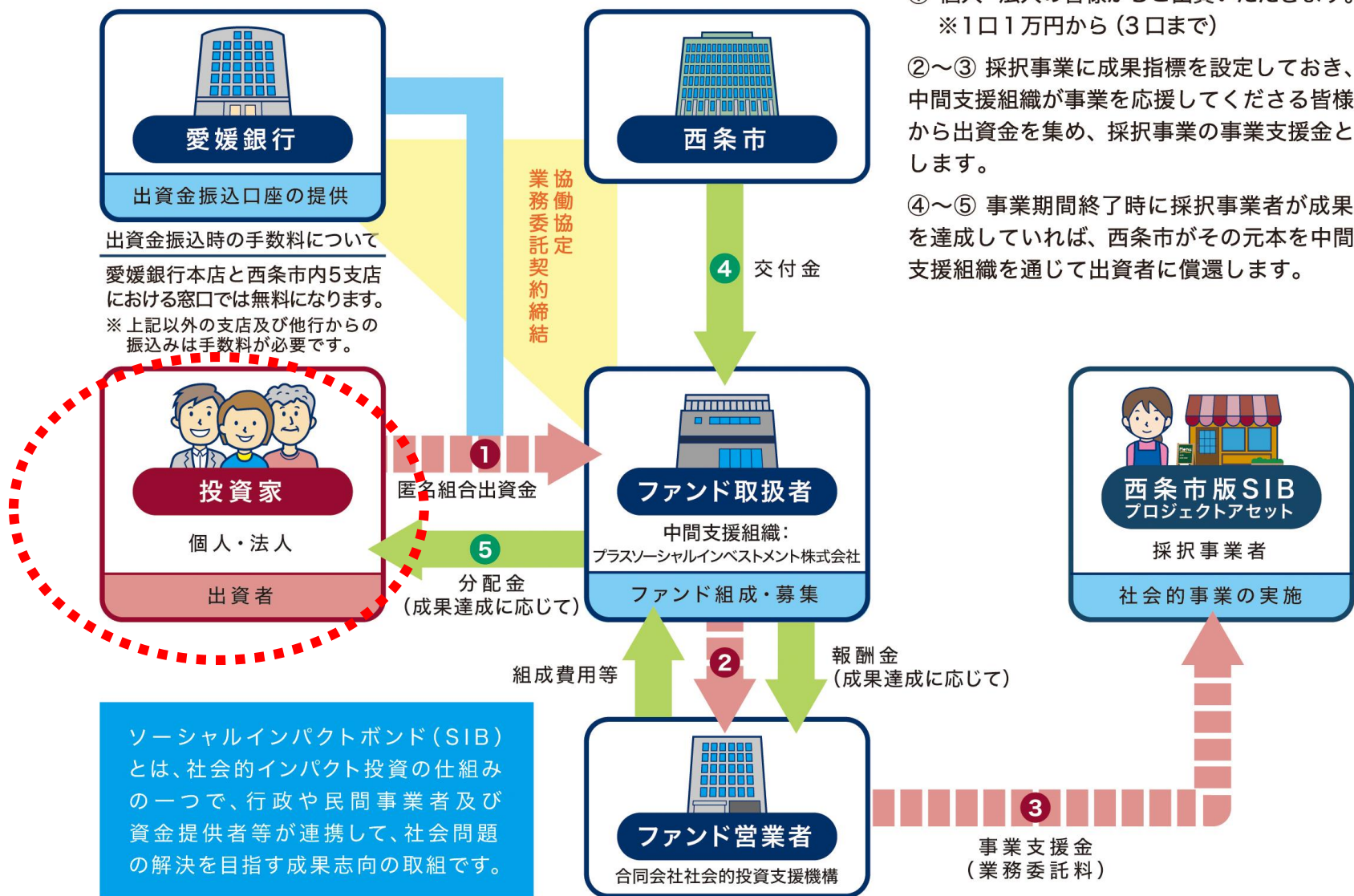
事業の目的が公益上必要と認められる活動に
かかった経費を支払う



- ・「行政と事業者」という二者の関係性のもと行われる
- ・サービス対象者以外には、「成果」が分かりにくい
- ・そもそも、補助金でどのような事業が行われているかさえも知られていない

補助金事業を「西条市版SIB」へ（平成30年度～）

西条市版SIB事業の仕組み



Point 1
住民による応援
＝出資
で事業を実施

Point 2
成果の見える化、
成果志向へ

実施を通じて—出資者という“応援者”—

出資者の桑村さん



—この年まで生きとったら、地域に何かしら返したい、残したいと思うようになるんよ。そう思っとる人は珍しくないよ。僕の周りにもたくさん居るよ。

ただ、それを行動に移せんかったり、どうしたら良いんか分からんかったりするんだらうね。潜在的には、何かやりたい人、応援したい人はたくさん居るんよ。

S I Bは、その第一歩を踏み出す、背中を押すものよね。

地域のことは行政がやることとか、行政任せにするとかじゃなくて、我々市民一人一人がボトムアップして行って、みんなで盛り上げないかんと、常々思っとる。

内容は何でもいい。S I Bをきっかけに、色んなものが生まれていくんじゃないかなと思うよ。

（インタビューの全文は西条市地域振興課HPに掲載中です）

▲H30の中間報告会での様子

開発中の商品の状況を事業者に質問されている桑村さん

これまでに実施したプロジェクト

平成30年度

- 完熟果物ソース商品化プロジェクト
～食品ロスになっている規格外果物を活用した地域農業の6次産業化～
【(株)PENTA FARM】
- はだか麦野菜スイーツ拡大プロジェクト
～小麦を一切使用しないはだか麦100%の野菜スイーツ～ 【つじ丸】
- 地元食材提供による賑わい創出プロジェクト
～地元に愛される居酒屋の挑戦～ 【とりや福（食旬福）】

令和元年度

- 丹原産はちみつ入り季節の果物ジャム開発プロジェクト
～西条市の恵みと生産者の手から生まれた作物を詰め込んだ一品～
【くらしとごはんリクル】

3年間で累計7つのプロジェクト

✓ 出資者 延べ人数：201名

✓ 出資金額 合計：450万円

今年度から「つながり広がるチャレンジ応援事業」へ！

「特産品開発」から分野を広げ、
「SDG s 達成に資するあらゆるチャレンジ」を支援する枠組みへ 

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



▲SDG s …

2015年の国連サミットで採択された持続可能な開発目標。

貧困や不平等・格差、気候変動など多分野の問題をすべての人が協力し根本的に解決することを目指す、世界共通の17の目標。

例えば平成30年度に実施した
特産品開発事業「規格外果物を使っ
た産品を新開発し耕作放棄地の解消
をめざすプロジェクト」も…



実施を通じて一行政補助金の枠を超えた展開へー

地域の社会的課題
プロジェクト化
・情報発信



地域住民が
チャレンジを知り、
出資を通じて
応援の「本気度」が
高まる



地域住民が
地域の社会的課題を
「自分事化」

つながりから生み出した価値
取組の可能性がからさらなる
広がるチャレンジへ

社会的課題と西条市版SIBプロジェクトの一例

生態系の変化 野生鳥獣の増加
農林業など暮らしへの深刻な影響



捕獲した鹿・猪をジビエとして、地域の逸品に。
自然と共生する持続的なビジネスへ



令和2年度 プロジェクトとスケジュール



この間さまざまな形で
住民の参加や協力を
いただきながら進めます

今年度実施中の3つのプロジェクト

地域銘菓・たぬきまんじゅうの伝承



“西条ジビエ”スタートアップ



フレンチレストランが地域資源の魅力をつなぐ



西条市版S I Bつながり広がるチャレンジ応援事業

「住民出資」で

想いがつながり

可能性は広がっていく

